



柏木だより

令和6年2月22日(木)

八王子市立柏木小学校

教育目標： 自分を育て ともに育つ子

2月特別号

◎つたえあう（重点目標） ○わかりあう ○きたえあう

本校HP URL : <http://hachioji-school.ed.jp/kswge/>



令和5年度（12月）学校評価の結果について

日ごろから、本校の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。12月に実施した保護者アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

【保護者 学校評価】 児童数234 回答66 回答率 28.2%

(昨年12月の実施より回答率がやや上がりました。ご協力ありがとうございます。)

	質 問 項 目	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない(判断できない)	肯定的評価
1	学校の教育目標「自分を育てともに育つ子」（つたえあう・わかりあう・きたえあう）を知っている。	42.4%	54.5%	1.5%	1.5%		98.4%
2	学校が力を入れて行っている、特色ある教育活動について知っている。（読書活動の推進・国際交流・漢字・100マス計算大会・本物との出会い（講演、体験など）の実施・宿題等による3分間音読・たてわり班活動・とも遊び）	54.5%	43.9%	1.5%	0%		98.4%
3	本校が南大沢中学校、南大沢小学校と一緒にいる取り組みについて知っている。（小中一貫教育の日、研究授業、おはようコミュニケーション、地域清掃、南大沢スタンダード）	63.6%	33.3%	3%	0%		96.8%
4	学校は子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	48.5%	47%	1.5%	0%	3%	95.2%
5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	34.8%	50.0%	3%	2%	9.1%	83.9%
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。（児童への毎月いじめアンケートの実施と6月・11月ふれあい月間）	34.8%	51.5%	4.5%	1.5%	7.6%	85.5%
7	子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	36.4%	47%	7.6%	0%	9.1%	85.5%
8	学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器（1人1台の学習用端末等を含む）の活用などに取り組んでいる。	37.9%	48.5%	3%	0%	10.6%	87.1%
9	学習活動に対する評価は適切・公平である。	36.4%	47%	4.5%	0%	12.1%	88.7%
10	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	36.4%	51.5%	3%	1.5%	7.6%	88.7%
11	学校が、「はちおうじっ子 キャリアパスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	54.5%	40.9%	3%	0%	1.5%	95.1%

12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	27.3%	51.5%	6.1%	0%	15.2%	79%
13	学校は、保護者に対して、学校だよりや、ホームページ等で適切に情報を提供している。	40.9%	39.4%	16.7%	1.5%	1.5%	80.6%
14	学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。	33.3%	30.3%	7.6%	0%	28.8%	64.6%

【児童 学校評価】（5，6年対象）

質 問 項 目		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	わからな い（判断 できな い）	肯定的 評価
1	先生たちは学校の教育目標を伝えている。	52.1%	31.5%	12.3%	4.1%		83.6%
2	先生たちは特色（読書、学力、英語等）に熱心に取り組んでいる。	65.8%	24.7%	8.2%	1.4%		90.5%
3	先生たちは小中一貫教育に熱心に取り組んでいる。	58.9%	30.1%	5.5%	5.5%		89%
4	先生たちは、児童が安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	69.9%	17.8%	1.4%	1.4%	9.6%	87.7%
5	自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるように、先生たちは指導している。	67.1%	16.4%	2.7%	1.4%	12.3%	83.5%
6	先生たちは、いじめを起こさない取組を行ったり、発生した場合には直ちに対応をしたりするなど、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。	65.8%	13.7%	4.1%	2.7%	13.7%	79.5%
7	先生たちは、落ち着いて学習できる学級づくりに取り組んでいる。	57.5%	15.1%	8.2%	0%	19.2%	72.6%
8	先生たちは、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT 機器の活用などの工夫に取り組んでいる。	67.1%	19.2%	4.1%	1.4%	8.2%	79.4%
9	先生たちは、児童がよりよい生活を送れるように、学校の生活指導の目標やきまりを守る指導をしている。	67.1%	12.3%	2.7%	1.4%	16.4%	79.4%
10	先生たちは、「はちおうじっ子 キャリアパスポート」等を用いて、児童の生き方や将来についての指導をしている。	42.5%	19.2%	6.8%	2.7%	28.8%	61.7%
11	先生たちは、学習環境の整備に取り組んでいる。	69.9%	12.3%	2.7%	1.4%	13.7%	82.2%

【児童 授業評価】（4，5，6年対象）

質 問 項 目		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	わからな い（判断 できな い）	肯定的 評価
1	先生の教え方は分かりやすい	69.9%	20.4%	4.4%	0%	5.3%	94.1%
2	先生は、自分の学習への取り組みをきちんと分かってくれる	54.9%	27.4%	2.7%	0.9%	14.2%	94.2%
3	先生の授業では、安心して自分の意見を言える	60.2%	21.2%	2.7%	6.2%	9.7%	94.1%

【考察】

(1) 保護者学校評価について

いつでもどこでも回答できる、Google フォームによる学校評価を実施し、個人面談の際にも担任から呼びかけを行いました。前回より回答率がやや減少しました。より多くの保護者の皆様にご協力いただけるよう、実施方法の検討をしてみたいです。

今回の学校評価でも、多くの項目で肯定的な評価をいただきました。

肯定的な回答が低かった設問は、「14 学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。」の肯定的な評価が64.6%でした。前期に引き続き、教職員対象の研修や情報交換、児童対象の特別支援理解教育を実施しています。また、ユニバーサルデザインの学校をめざし、掲示物の工夫や椅子の防音（テニスボール）で刺激の少ない学習環境を整えたり、学習用端末を使って個別の対応を行ったりしています。みずき教室の巡回教員や、ことばの教室の担当教員とも連携しながら、校内の特別支援教育をさらに充実させてまいります。

「12 学習環境の整備」「13 学校は、保護者に対して、学校だよりや、ホームページ等で適切に情報を提供している。」についても、肯定的評価が80%前後だったため改善策を講じていきます。

(2) 児童学校評価について

7月に実施した学校評価と比較すると、「わからない」と回答した児童が増えたため、肯定的評価が全体的に下がりました。「10 先生たちは、「はちおうじっ子 キャリアパスポート」等を用いて、児童の生き方や将来についての指導をしている。」は61.7%でした。学校では、「はちおうじっ子 キャリアパスポート」だけでなく、体験活動や外部人材による授業や特別活動を通して、働くことや様々な職業について知り、将来の職業につながるよう教育活動を行っています。学んでいることが、自分の将来の進路や職について考えることと、どうつながっていくのか理解できるよう指導を行っています。

授業評価についての肯定的評価は、7月より大きく上昇し、「授業のわかりやすさ」「取組の評価や発言のしやすさ」のいずれも、9割を超えました。児童の学ぶ意欲や学力向上につながるよう、引き続き改善を行ってまいります。

【保護者の自由意見より】

1) 学校についてよい評価をしていただいたご意見

○毎日帰宅すると、学校での出来事を楽しそうに話してくれるので、充実した学校生活を過ごしているんだなあと、安心して聞いています。先生が大好きすぎて、迷惑かけていないか心配なくらいです。授業では、子供の個性に耳を傾けて対応をして下さって感謝しています。

2) ご要望や、ご心配されていること

【学校全般について】

○ホームページで配布物の閲覧やマチコミで情報の発信をして欲しい。

○学校だよりをホームページでちゃんと配信してほしい。

・学校のホームページのトップページに「タブ」があり、「最新の配布文書」のカテゴリーでは、学校だよりや学年だより、その他の保護者向けのお便り等を掲載しています。また、従来の紙媒体での毎月のお便りは月初めにお手元に届くよう配布しています。緊急の場合は、マチコミでもお知らせしています。保護者や地域の皆様に情報が伝わるよう、今後もデジタルを活用しながら、紙による配信も併用していきます。

○不審者情報などは当該生徒に関係なくても地域で発生したものは極力共有して欲しい。

○地域の不審者情報や、学校での感染症の流行、学級閉鎖の情報をマチコミやホーム&スクールで共有して欲しいです。

○インフルエンザ等で違う学年やクラスが学級閉鎖になったことを学校以外の場所で知ることがある。全校の家庭へ共有して欲しい。

- ・学校に不審者情報の連絡があった際、児童の登下校時に関わり急を要する内容や地域で継続した注意喚起が必要な内容についてはマチコミを使ってご連絡いたします。また、連絡を受けた内容が数日前の内容については学級指導を行い、児童に注意喚起を促します。併せて、保護者の皆様が不審者を見つけた、情報が入った場合、まずは警察に連絡をしていただけるとありがたいです。ご協力をお願いいたします。市や警察の防犯メールのからの情報もご活用ください。
- ・現在、学級閉鎖が発生した場合、当該学級にお便りの配布をし、校内で情報の共有を行っています。今後、学級閉鎖情報は当該学級のお便りだけでなく、マチコミで全校に配信し、保護者の皆様にお知らせいたします。

○柏木小の児童が、下校時に横一列に広がって歩き、すれ違う時もよける様子もなく、いつも不愉快です。

○給食の白米のみの日を増やしてほしい。麦ごはんが多すぎる。

○水着・ラッシュガードの色やデザインの指定をなくし、冬の体操服の長ズボンを許可してほしい。

○教材で、乾電池を家庭で購入するよう指示があった。単一電池は家庭では使用することがなく、無駄な買い物となった。せめて単三・単四にしてほしい。

○運動会・学習発表会の練習の際、体調が悪いのにマスクを無理やり外させる指導があった。

○学校で図書の時間がなくなり、読書の習慣が薄れてしまった。学校では読書週間等、やめたのでしょうか。

- ・登下校の際の歩き方や公共の場におけるマナーについて安全指導を行っていますが、再度指導します。
- ・麦ごはんはビタミン、ミネラル等の微量栄養素が白米のみのごはんより多く含まれています。そのため、市として麦ごはんを献立の中に月1～2回入れて提供しています。
- ・水着・ラッシュガードについては7月のアンケートのまとめで回答いたしましたが、冬の体育着の長ズボンについても、次年度に向け検討事項として、近隣校とも情報交換をしながら対応に当たります。
- ・理科の教材（購入するキット）で単一電池を使用することがあります。学校で購入するよりご家庭で用意していただいた方が安くなるためお願いしました。
- ・マスクの着脱は本人の体調を考慮し、強制しないようにいたします。
- ・カリキュラム変更や余剰時数の減少のため、以前のように毎週図書の時間を確保できる授業時数は減りましたが、学校では朝読書や各学年の発達段階に応じた読書活動を継続していきます。

【教員の対応について】

○先生の対応が非常に不愉快でした。挨拶しても振り向きもせず、子供の状況の確認も不十分でした。

○先日、発熱でお迎えの連絡なく本人が1人で帰ってきたことがあり、今まで上の子もそのようなことはなかったのでびっくりしました。担任が教室で、さようならではなく保健室まで付き添うなど学校全体で統一してほしい。

- ・学校に関わる方に不愉快な思いをさせぬよう、丁寧な対応を心掛けます。
- ・児童が体調不良の場合、保健室で処置をし、早退をする場合は保護者連絡を行っています。児童の健康面や安全面を第一に考え対応に当たります。また、児童が体調不良の際に教員に伝えられる人間関係の構築や学級の雰囲気をつくるよう努力します。

アンケートに寄せられた温かい励ましや厳しいご指摘等、ご意見をいただきありがとうございます。学校では、全教職員が責任をもって児童の指導に当たらなければいけないと考えています。一つ一つのご意見を真摯に受け止め、改善につなげ今後の教育活動に生かしてまいります。もしお子さんのことで何かお気付きのことがありましたらいつでも学校までご相談ください。アンケートへのご協力、ありがとうございました。